

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和6年6月13日 No,3 文責 関口

みんなで楽しく体育館で遊ぼうー！

6月8日、マルベリー主催で、学校の体育館で楽しく遊ぶという取り組みが行われました。当日は20名近くの子どもが集まり、思い思いの遊びをして楽しみました。特に、ゲストを呼ぶとか、何か大きな企画があった



わけではありません。鈴木薫さんが持ってきてくれた円盤やミニラケットで互いに投げ合ったり、学校にあるボールでバスケットをしたり、限られた道具を使って工夫しながら遊んでいました。こんな感じで2時間以上も遊べるのかと思っていましたが、子どもたちの発想力や、すぐに遊びに夢中になる力は相当なもので、このような体験を通して、まさに感性も育まれていくのだということが、子どもたちの生き生きした表情でわかりました。

幼児教育では、遊びは、とても大切な教育活動となっています。幼稚園学習指導要領解説には、「遊びの本質は、人が周囲の事物や他の人たちと思うがままに多様な仕方で応答し合うことに夢中になり、時の経つのも忘れ、その関わり合いそのものを楽しむことにある。すなわち遊びは遊ぶこと自体が目的であり、人の役に立つ何らかの成果を生み出すことが目的ではない。しかし、幼児の遊びには幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれている。」と記述されています。これは小学生にも十分に当てはまることではないかと思えます。最近では国全体の流れとして幼稚園・保育園・こども園と小学校の連携が進んでいます。函南町においても、5歳から小1までの期間をかけ橋期と位置づけ、カリキュラムづくりが始まっています。幼保こにおける教育と小学校の教育の違いや共通点を明確にしなが、教職員の研修も行われ、理解が進んでいます。

人は遊びを通して、運動能力や知的能力を発達させていきます。さらに、遊びには一定のルールが伴っていることから、個々の能力だけでなく、人と人とのつながりや社会性も培われることとなります。このため人間が高度な知能をもった動物として存在する上で、



重要な要素であると考えられています。たかが遊び、されど遊び。今回の取り組みでは、中学生や未就学児も参加していました。小学校を中心に地域の方々の力を借りながら、今回のような感性を育むイベント（遊び）が盛んになっていくよう協力していきたいと思っています。